

日刊サン 2013年7月26日付け紙面より



Live Forum Foundation USA

米国に脱原発の兆し

『世界平和ページェント2013』特番で検証

教育NPO法人、ライブフォーラム（木村正弘代表）が毎年、広島平和記念祭の前日、広島市長の平和メッセージと共にネット配信する「世界平和ページェント」で、このほど完全閉鎖が確定したサンオノフレ原発（カリフォルニア州）を特集し、米国で着々と進む脱原発の動きを検証する。

特集の冒頭、世界平和ページェント宛に届けられた松井一實広島市長のメッセージを公開。同メッセージは、広島平和記念式典（8月6日）の前日、全世界に向けて核のない恒久平和を訴えるため、原爆投下24時間前（ロサンゼルス、同4日午後4時15分）にネット上でライブ配信される。

核のない世界平和と脱原発がどのように結びつくかが、特集の見どころ。日本では、電力会社4社が現在、6原発の安全審査を申請中で、再稼動の方針を決めている。

しかし、米国では福島第一原発の事故を受け、審査の基準が一層厳しくなっており、一度事故を起こすと再開の目処は立ちにくい事情がある。さらに安全を求める地

域住民の声も一段と高まっており、新たに発見されたシェールガスなどの安価なガスが価格面で脱原発の後押しをしている。

「世界平和ページェント」ゲスト出演者

Henry Tornell 元プリンストン大学教授
（原子物理学専門）

Carl-A Fechner 監督（「第4の革命」で
ドイツの脱原発に影響）

据石カズ氏、在米被爆者

米谷ふみ子氏、在米芥川賞作家

協力：広島市、オレンジカウンティ・レ
ジスター紙

「世界平和ページェント」ライブ配信

日時：8月4日(日)(ロサンゼルス時間)

4:15pmより開始

所用時間：約30分

ウェブサイト：<http://www.liveforum.org>

なお、この企画は、日本国外の人を対象に
しているため、英語で放映される。

問い合わせ：ライブフォーラム事務局

949-454-9507

liveforum@liveforum.org